

くすりのあしたを考える。



東和薬品

# 平成28年3月期 第2四半期決算補足説明資料

2015年11月

(証券コード: 4553)

# まとめ

- ・ 売上高は、前年同期比17.0%増。計画を若干上回る進捗となっている。
- ・ 売上原価率は、前年同期比1.8pt減。販売数量の伸びと共に生産数量の増加により製造原価が改善した。また、主力品・追補品の増加も貢献している。
- ・ 販売管理費は、前年同期比17.8%増。開発品目増加に伴う研究開発費の増加の他、要員増に伴う人件費の増加や広告宣伝費増加の影響が大きい。対計画では、研究開発費・人件費などが未達となった。
- ・ 営業利益は、前年同期比32.0%増。対2Q計画では、販売管理費の未達と売上原価の改善の影響で上回っているが、4Qに向けてほぼ計画通りの進捗と見ている。
- ・ 経常利益段階において、前年同期は急激な円安により、原料代金の為替をヘッジする目的で実施しているデリバティブ取引の評価益が8億8千2百万円発生したが、今期は前期末と比べ、緩やかな円高が発生したため、2億1千3百万円の評価損が発生した。
- ・ 特別損失に旧山形第一工場の解体処理費用等(約2億円)を計上。
- ・ 業績見込みは修正していない。
- ・ 2015年7月7日に当社初の転換社債型新株予約券付社債(150億円 2022年満期)を発行し、設備投資資金を確保。

# 2016年3月期第2四半期決算概要

(単位:百万円, %)

期	16/3 2Q			15/3 2Q	
項目	金額	対売上高 比率	前年同期比	金額	対売上高 比率
売上高	39,162	100.0	+ 17.0	33,468	100.0
売上原価	19,251	49.2	+ 12.8	17,074	51.0
販管費	14,388	36.7	+ 17.8	12,211	36.5
営業利益	5,522	14.1	+ 32.0	4,183	12.5
経常利益	5,613	14.3	+ 1.1	5,550	16.6
親会社株主に帰属する 四半期純利益	4,014	10.3	- 1.3	4,068	12.2

(為替レート)  
1ドル

2015/9  
118.96円

2015/6  
121.45円

2015/3  
119.17円

2014/9  
108.45円

2014/6  
100.36円

2014/3  
101.92円

# 2016年3月期第2四半期決算概要(計画進捗率)

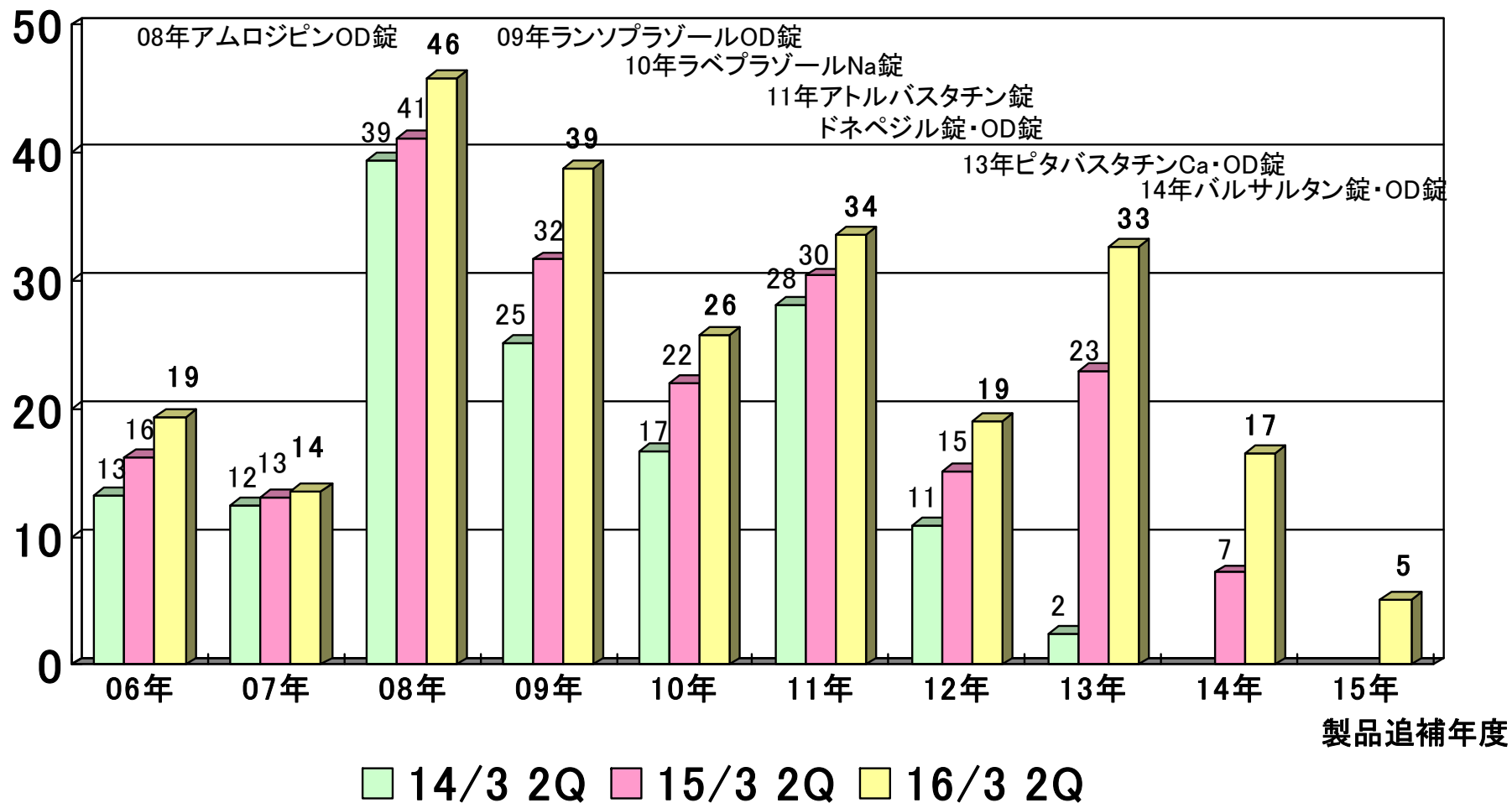
(単位:百万円, %)

期	16/3							
	2Q実績		2Q計画			通期計画		
項目	金額	売上高 比率	金額	売上高 比率	達成率	金額	売上高 比率	進捗率
売上高	39,162	100.0	38,500	100.0	101.7	82,000	100.0	47.8
売上原価	19,251	49.2	19,000	49.4	101.3	40,500	49.4	47.5
販管費	14,388	36.7	14,800	38.4	97.2	30,000	36.6	48.0
営業利益	5,522	14.1	4,700	12.2	117.5	11,500	14.0	48.0
経常利益	5,613	14.3	4,600	11.9	122.0	11,500	14.0	48.8
親会社株主に帰属する 四半期純利益	4,014	10.3	3,200	8.3	117.8	8,200	10.0	46.0

# 追補年度別売上高推移

08年追補以降の売上が順調に伸長した。

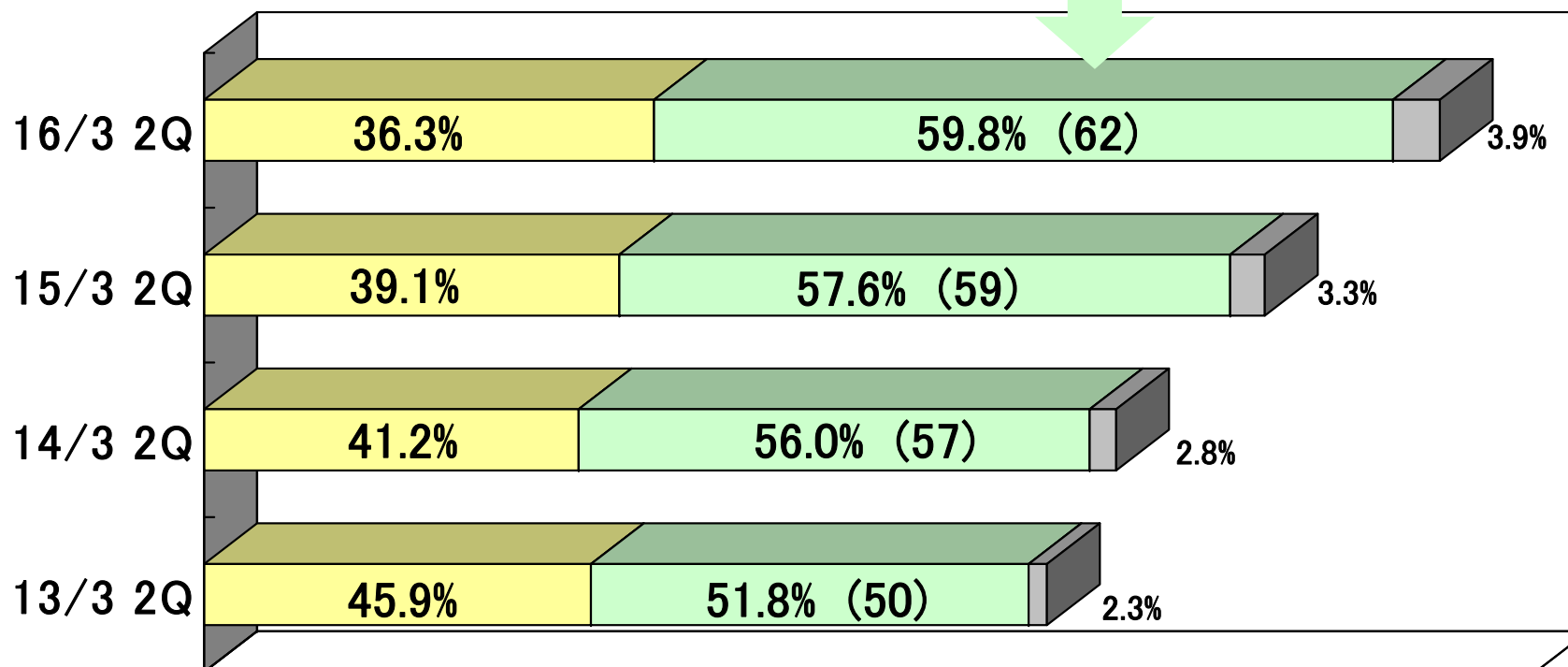
億円



# 売上高詳細(販路別)

(単体)

代理店の営業所化・営業所の新設、本社取引の拡大などにより、直販比率が増加。( )は営業所数

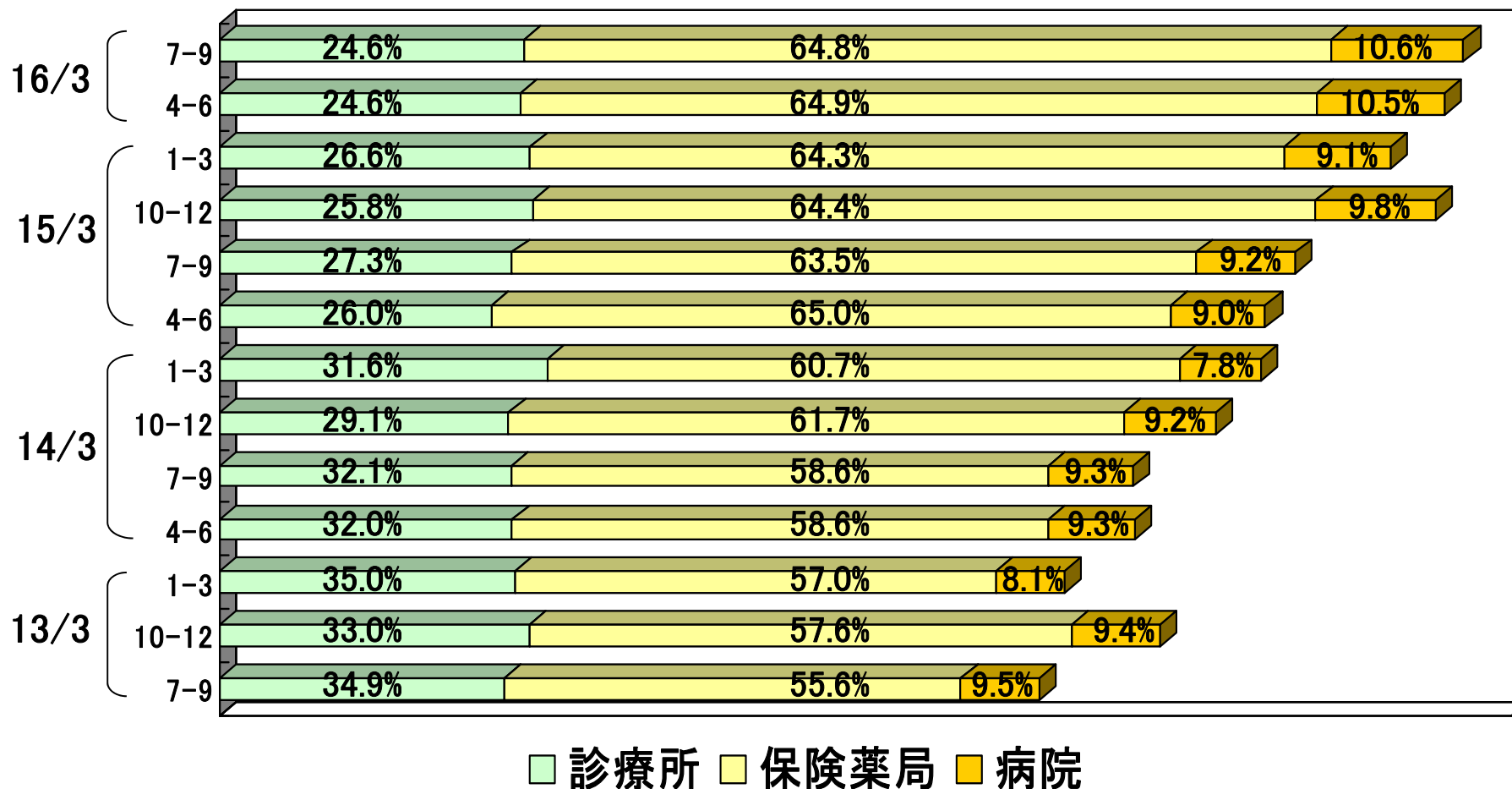


■ 代理店 ■ 営業所・本社 ■ その他(他社販売・受託・輸出)

# 売上高詳細(納入先別)

(単体)

売上が順調に伸びる中、保険薬局と病院の売上比率も順調に推移。



(他社販売等を除く。診療所+保険薬局+病院を100%としている。)

# 販売費及び一般管理費

(単位:百万円, %)

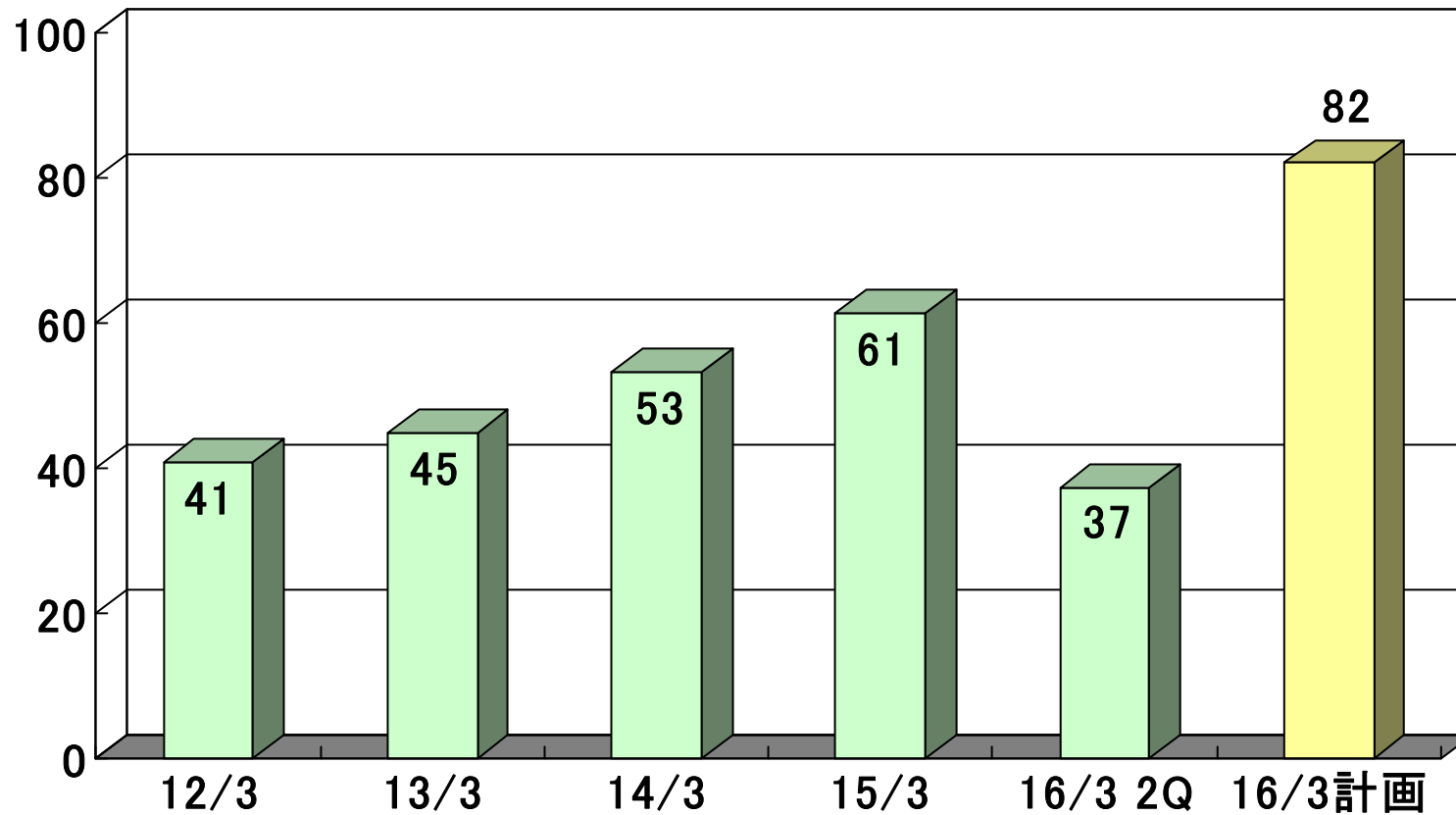
期	16/3 2Q			15/3 2Q	
	金額	対売上高 比率	前年同期比	金額	対売上高 比率
人件費	5,840	14.9	+ 11.3	5,248	15.7
研究開発費	3,726	9.5	+ 23.6	3,013	9.0
荷造費	733	1.9	+ 17.7	623	1.9
広告宣伝費	803	2.1	+ 73.8	462	1.4
減価償却費	449	1.1	+ 11.2	404	1.2
支払手数料	479	1.2	+ 33.3	359	1.1
その他	2,356	6.0	+ 12.2	2,098	6.2
販管費	14,388	36.7	+ 17.8	12,211	36.5

販売管理費は、前年同期比17.8%増。開発品目増加に伴う研究開発費の増加の他、要員増に伴う人件費の増加や広告宣伝費増加の影響が大きい。対計画では、研究開発費・人件費などが未達となった。なお、減価償却費は研究開発部分を除く。



# 研究開発費

億円



# 貸借対照表

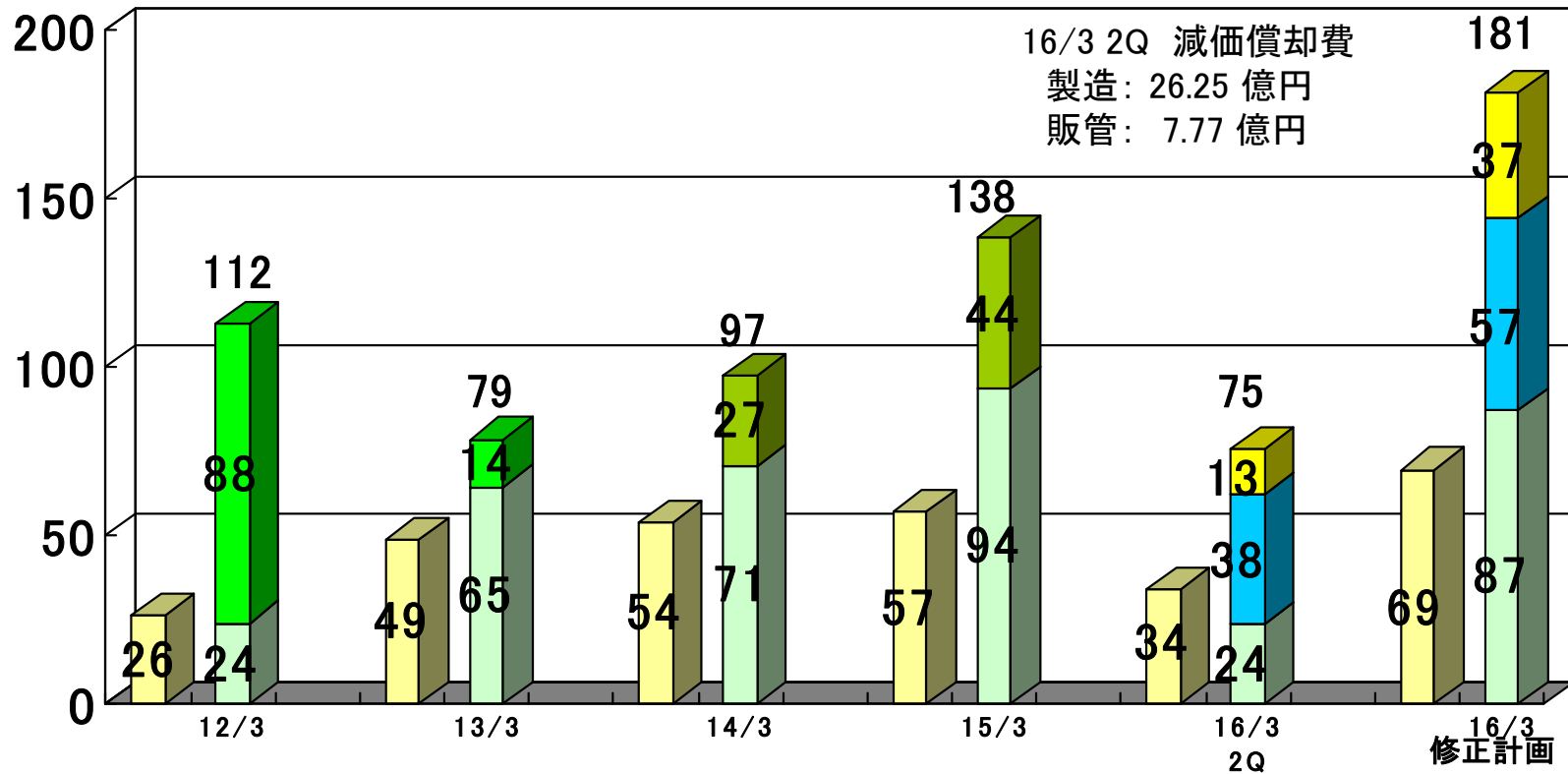
(百万円)

項目	15/9	15/3	増減
現金及び預金	11,280	3,009	+ 8,270
受取手形 及び売掛金	23,514	22,669	+ 844
有価証券	9,998	3,198	+ 6,799
商品及び製品	19,259	16,677	+ 2,581
その他流動資産	22,204	21,086	+ 1,117
<b>流動資産計</b>	<b>86,256</b>	<b>66,642</b>	<b>+ 19,613</b>
建物及び構築物	23,911	24,750	- 838
機械装置及び運 搬具	13,020	12,433	+ 587
その他固定資産	21,009	17,360	+ 3,648
<b>固定資産計</b>	<b>57,941</b>	<b>54,544</b>	<b>+ 3,396</b>
<b>資産合計</b>	<b>144,197</b>	<b>121,187</b>	<b>+ 23,010</b>

項目	15/9	15/3	増減
支払手形 及び買掛金	12,029	12,577	- 548
1年内返済予定の 長期借入金	1,905	2,505	- 600
未払法人税等	1,492	3,366	- 1,873
その他流動負債	13,601	12,605	+ 996
<b>流動負債計</b>	<b>29,028</b>	<b>31,054</b>	<b>- 2,025</b>
長期借入金	30,566	18,468	+ 12,097
新株予約券付社債	15,073	-	+ 15,073
その他固定負債	1,418	1,616	- 197
<b>固定負債計</b>	<b>47,057</b>	<b>20,085</b>	<b>+ 26,972</b>
<b>負債合計</b>	<b>76,086</b>	<b>51,139</b>	<b>+ 24,946</b>
<b>純資産合計</b>	<b>68,111</b>	<b>70,048</b>	<b>- 1,936</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>144,197</b>	<b>121,187</b>	<b>+ 23,010</b>

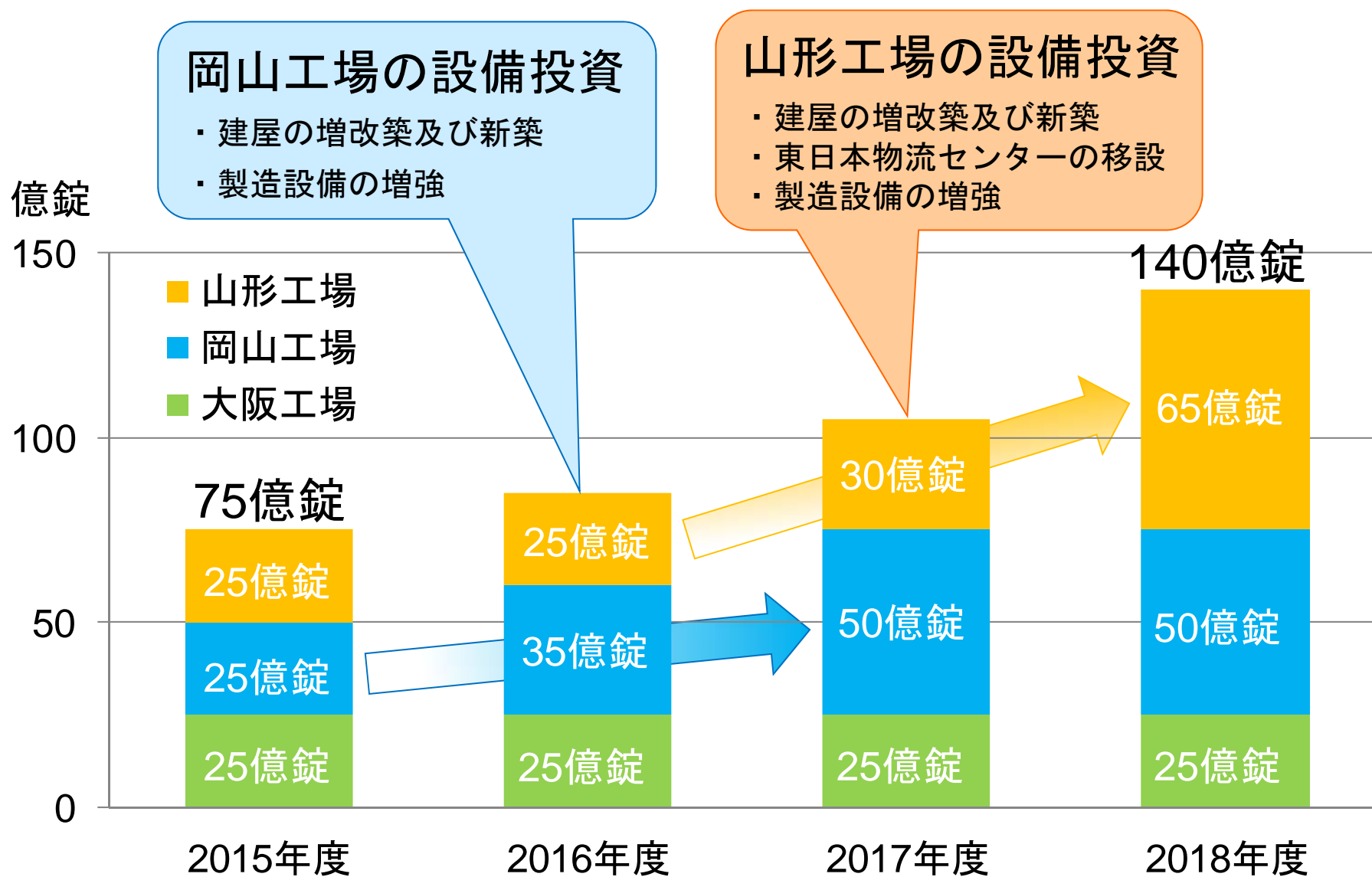
# 設備投資・減価償却費

億円

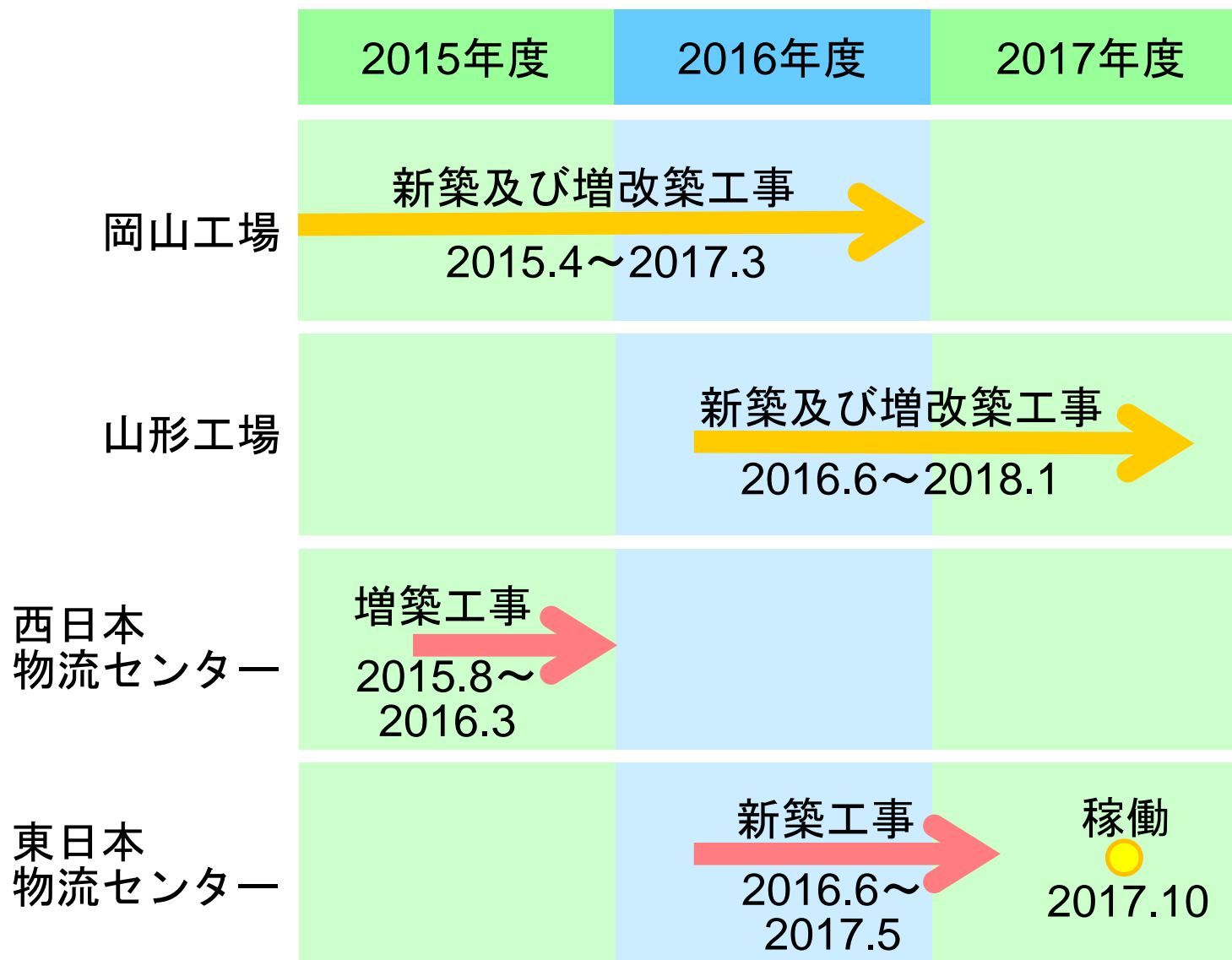


- 減価償却費
- 設備投資(その他)
- 設備投資(山形工場新設)
- 設備投資(大地化成)
- 設備投資(岡山工場増強)
- 設備投資(山形工場増強)

# 東和薬品の生産能力増強



# 東和薬品の生産能力増強スケジュール



# 主な設備投資及び減価償却費の修正計画

期	15/3	16/3 計画		17/3 計画		18/3 計画	
項目	金額 (百万円)	金額 (百万円)	前年同期比 (%)	金額 (百万円)	前年同期比 (%)	金額 (百万円)	前年同期比 (%)
設備投資	13,816	13,600	-1.6	17,000	+25.0	20,000	+17.6
設備投資(修正)		18,100	+31.0	20,700	+14.4	39,000	+88.4
岡山工場	2,511	3,400	+35.4	8,000	+135.3	1,300	-83.7
岡山工場(修正)		5,700	+127.0	5,700	0	1,400	-75.4
山形工場	2,404	3,100	+29.0	2,200	-29.0	17,600	+700.0
山形工場(修正)		3,700	+53.9	5,000	+35.1	36,500	+630.0
大阪工場	725	1,100	+51.7	1,300	+18.2	500	-61.5
東日本 物流センター		1,600	-	3,200	+100	0	-
その他	8,176	6,000	-26.6	5,500	-8.3	600	-89.1
減価償却費	5,724	6,960	+21.6	7,150	+2.7	8,900	24.5

- ✓ 平成27年5月14日に開示された中期経営計画については、ジェネリック医薬品に関連する制度や施策などの外部環境の予見性が高くなった上で見直し、まとめ次第開示する予定である。
- ✓ 中期経営計画発表後に追加で発表された山形工場及び東日本物流センターに関する設備投資を反映すると、中期経営計画期間中で272億円の増額となる。

# 2015年12月追補収載予定新製品

薬効分類名	販売名	先発医薬品名 (会社名)	2014年度 売上(億円)
選択的AT <sub>1</sub> 受容体ブロッカー/ HMG-CoA還元酵素阻害剤	アムバロ配合錠「トーフ」	エックスフォージ配合錠 (ノバルティス)	225
選択的セロトニン再取り込み 阻害剤	セルトラリン塩酸塩錠 25mg/50mg「トーフ」	ジェイゾロフト錠25mg/50mg (ファイザー)	220
持続性Ca拮抗剤/ HMG-CoA還元酵素阻害剤	アマルエット配合錠 1番/2番/3番/4番「トーフ」	カデュエット配合錠 1番/2番/3番/4番(ファイザー)	120
前立腺肥大症に伴う排尿障 害改善剤	ナフトピジルOD錠 25mg/50mg/75mg「トーフ」	フリバスOD錠25mg/50mg/75mg (旭化成ファーマ)	134

など、6成分 11品目を上市予定

12月追補品合計で初年度売上約1.7億円

アムバロ 約0.6億円

アマルエット 約0.4億円

セルトラリン 約0.3億円

を計画しております。

<お問い合わせ先>

東和薬品株式会社 社長室

[ir@towayakuhin.co.jp](mailto:ir@towayakuhin.co.jp)

TEL : 06-6900-9101

FAX : 06-6900-0634

将来予想に関連する記述については、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用下さい。